

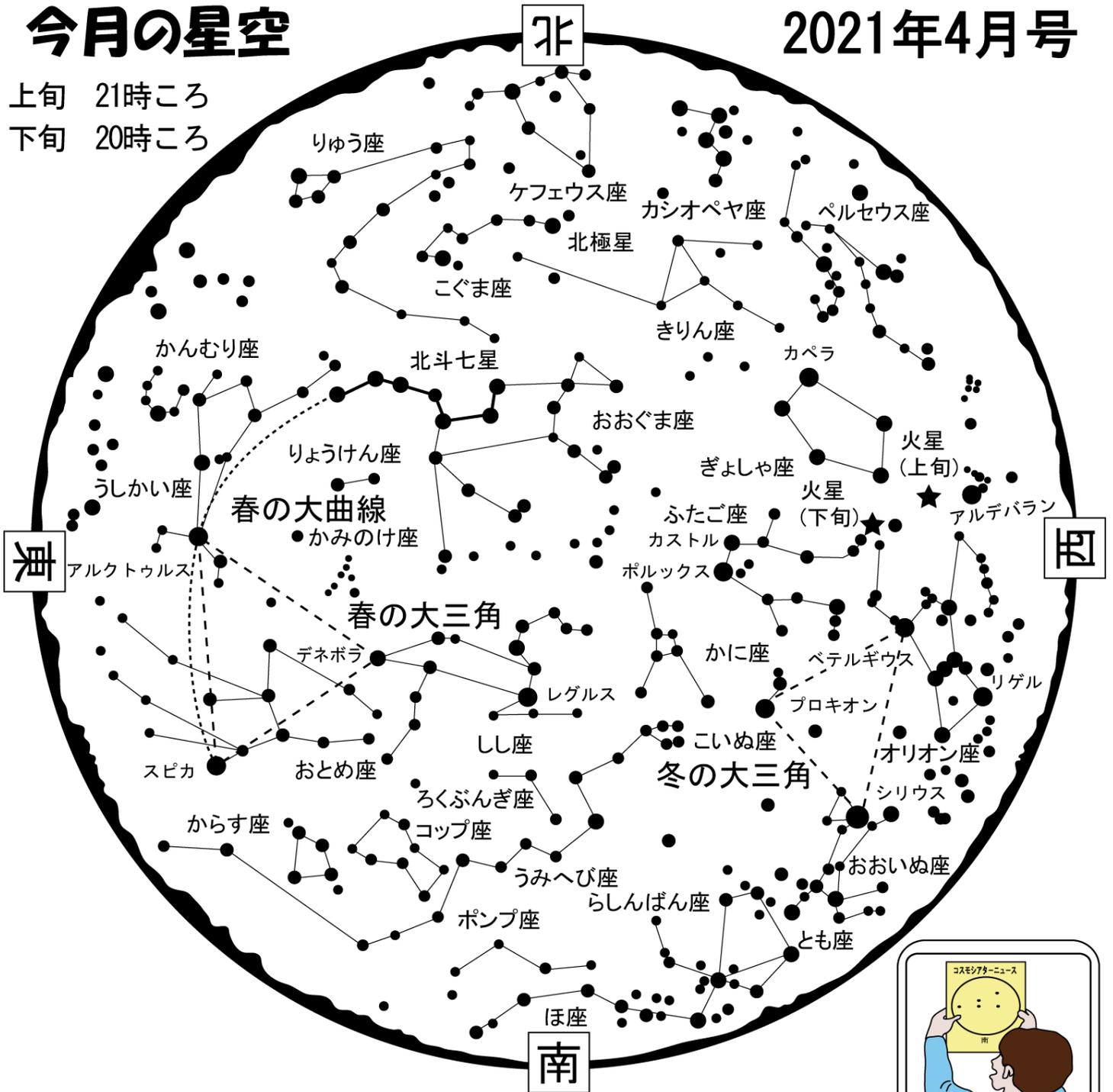
コスモシアターニュース

今月の星空

2021年4月号

上旬 21時ころ

下旬 20時ころ



今月の惑星の動き

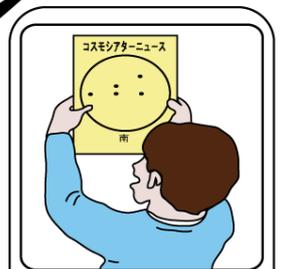
水星：月末の夕方、西のたいへん低い空に見えます。明るさは-1等星です。

金星：見かけ上太陽に近く、見つけるのは難しい。

火星：夕方、西の空に見えます。明るさは1等星です。

木星：明け方、東南東の空に見えます。明るさは-2等星です。

土星：明け方、東南東の空に見えます。明るさは0.5等星です。



自分の向いている方向を下にして、見てください

今月の月の満ち欠け

下弦：4日(日) 新月：12日(月) 上弦：20日(火) 満月：27日(火)

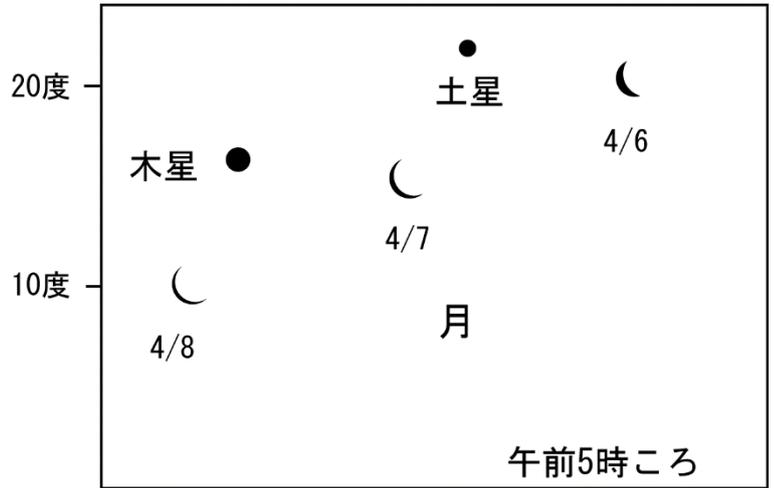
6日(火)～7日(水)、明け方、南東の空で月と木星、土星が並んで輝く

明け方午前5時ころ、南東の空に、細い月が輝きます。この月の左側に輝くのが、土星です。土星は1等星ですので、肉眼でもよく見えるでしょう。

ところで、土星の左側にさらに明るい木星が輝きます。6日の朝は、月の左側へ、土星、木星と並びますが、7日(水)の朝は、土星と木星の間の少し下へ、月が移動します。バランス的には、7日の朝のほうが、いいと思います。

また、8日(木)の朝は、月が木星の左下に移動し、しだいに見つけにくくなるでしょう。

4月は、日の出が早くなるため、午前5時過ぎると朝焼けで空が明るくなります。少し早起きをしてご覧ください。



東南東

17日(土)、西の空で、月と火星が並んで輝く

空が暗くなる20時ころ、西の空で月と火星が並んで輝きます。火星の場所は、月のすぐ上側です。火星はオレンジ色の明るい星なのですぐに分かるはず。ただし、月が大変近いので、月の明るさで多少見つけにくいかもしれません。そんな時は、双眼鏡を使って観察してみてください。倍率が高いと、月や火星がぶれて見えますので、8倍以下の倍率のものが見やすくなります。

23日(金)、明け方前、こと座流星群が極大

ほうき星・彗星(すいせい)から出る尾の中に、小さなチリがたくさんあります。このチリの中を地球が通る時に、チリが大気との摩擦で燃え、地上から見ると、流れ星となって見えます。これが流星群の流星で、群流星(ぐんりゅうせい)と呼びます。群流星は、地上から見ると、ある地点(放射点)から全天に流れていくように見えます。この放射点がある場所の星座の名前をとり、何々座流星群と呼びます。今回は、放射点がこと座にあるので、こと座流星群になります。

こと座流星群は、22日(木)の21時ころに極大(一番多くなる)となります。放射点は、真夜中前に昇り、明け方にかけてだんだん高くなります。よって、23日(金)の明け方に、たくさんの流星を見ることができます。

22日夜から23日の明け方は、月が午前3時ころに沈み、明け方にかけて月明かりがなく好条件です。このため、松山市内では、23日の明け方前に、見られる流星の数は、1時間あたり5個くらいでしょう。そして、街明かりのない条件が良い所では、1時間に10個くらいの流星が見られるかもしれません。なお、主に見られるのは、東の空です。久しぶりの流星群ですので、ぜひ早起きをして観察してみてください。

27日(火)、ピンクムーン

4月の満月を、ピンクムーンと呼びます。なぜこの名前が付いたか、正確な理由は分かりませんが、花が美しく咲くころから、ついたのかもしれませんが、4月の空はかすみがかかり、空がぼんやりと白くなるが多くなります。このため、月もぼんやりと見えるが多くなります。また、大気の影響で赤く見えることもあります。さて、どんな色に見えるでしょうか?月の色が変わって見えるのは、19時30分から20時ころです。月が空高く昇ると、白色になるので、20時ころまでがチャンスです。月の見える方向は、東の空です。高さが低いので、見晴らしがよい所をご覧ください。

北極星を見つけよう

北極星は、ほぼ真北に見え、ほとんど動くことがなく、北の方位を教えてくれる星です。しかし、明るさは2等星で、特別明るい星ではなく、時々わからなくなることがあります。

こんな時は、北斗七星の星の並びから、見つけることができます。北極星の場所は、右のように、北斗七星の端の二つの星を結んで、その間隔を5倍延ばした所となります。

北の空の星は、北極星をほぼ中心に、時計の針と反対方向に動いています。このように北極星は、北の方位を教えてくれるだけでなく、星の動きもお教えてくれますので、もし北斗七星が見つかったら、北極星を捜してみてください。なお、右の図の方法で、カシオペア座からも北極星を見つけることができます。ただ春の時期は、カシオペア座の高度が低く、見つけるのは難しいでしょう。

